

エプロンが違います。



今回は、調理員さんの調理中の服装を紹介します。



調理室は、工程ごとに作業エリアが分かれています。



水色で丈の長いエプロンは、野菜などの洗浄をするエリアの人です。



このエリアで洗浄作業をしている人はそのままほかのエリアに行くことはありません。

エプロンが違います。



青いエプロンは調理をする人です。



配缶をする人は、みどりのエプロンです。



同じ白衣を着ていますが、エプロンの違いで、担当している調理工程が一目でわかるようになっています。

(調理終了後、撮影しました)



包丁などの調理道具が色分けされているのも同じ理由です。

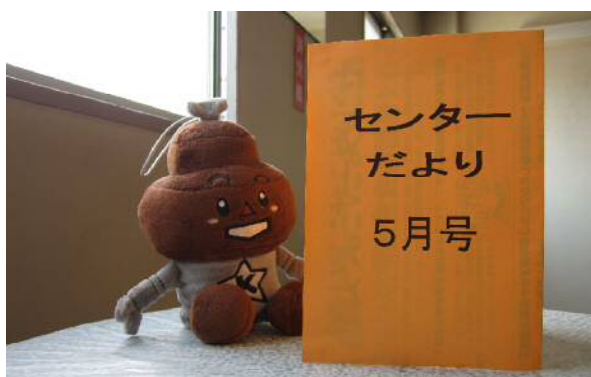
エプロンが違います。



清潔な白衣を着て、帽子は耳まですっぽり隠れています。

手袋をする前に、ひじから下をていねいに洗います。

つめのあいだもブラシを使ってしっかりおこないます。



給食当番のみなさんについてはセンターだより5月号にのっています。

清潔にしています。

